

## 平成 18 年度第 2 回図書館協議会会議録

日 時 平成 18 年 12 月 14 日 (木) 午後 2 時 30 分～4 時 45 分  
場 所 図書館 3 階保育室  
出席委員 菊地委員長 倉田副委員長 三門副委員長 松田委員 浜口委員  
今村委員 伊藤委員 寺島委員  
欠席委員 小茂田委員 河永委員  
川西教育長  
事務局 齋藤図書館長 林主査  
傍聴者無し

1 開 会 倉田副委員長

2 委員長挨拶

3 教育長挨拶

4 議 事

議事録署名委員の指名 倉田副委員長 三門副委員長

報告事項

事務局 資料に基づき説明

① 先進地視察研修について

視察先：千葉商科大学附属図書館・市川市中央図書館  
詳細別添資料のとおり

② その他

- ・東初富の三井鎌ヶ谷自治会で文庫活動を行っている、「三井つくし文庫」が 11 月に 2006 年度（第 39 回）全国優良読書グループ表彰受賞の報告
- ・議会の状況について、3 月議会及び 12 月議会においては、学校図書室の運営状況及び司書の配置状況について、また 9 月議会では、17 年度から実施された図書館の業務委託についての質疑があった。特に個人のプライバシーの保護に関する事、中学生から 20 歳位くらいまでの利用者層に対する対策、さらに今後の図書館の運営方法について質問があった。これらは、図書館の課題として委員の意見を聞き、今後の運営に努めたい。

報告事項①についての意見・質問

委 員 千葉商科大学の利用の手続きについて

事務局 所定の申請用紙があるので、来館の上手続きをしていただく。

委 員 市川中央図書館で「図書の整理は不要のものをまず捨てることから始める」という言葉が印象に残り学校でのボランティアの作業にお

いて参考になった。

委員 捨てるということは中々出来ない事だ。

委員 我孫子の実践報告でも、学校図書室には古く利用できない物がたくさんあるので、整理するには、まず捨てるという事だった。

委員 学校は、司書教諭がいるが、授業やクラスを持っているので中々整理をする時間が取れない状況だ。

委員 学校を何校か回ってみたが、そのような状況は実感される。

委員 学校を見て回って、司書や、ボランティアのいるところは、いろいろ目配りされている。図書館と人的交流をすとか地域の人材を利用できるといいと思う。

委員 学校は学校として自立し、図書館とそれぞれの専門性の中で、協力し合っていくことが理想である。学校司書教諭や司書との交流は良い事だと思う。

委員長 「図書館職員・司書教諭（図書館担当職員）合同会議」の内容について説明を。

事務局 図書館側でいろいろ働きかけをしても、やりたくても人がいないのでできないなどの不満をうたえられてしまう。市川と比べ体制ができていないため、会議を開いても情報交換の場・不満の受け皿となるしかない。学校図書室と図書館とは、制度も整備状況も違う。19年度にインターネット化を進める予定なので、多少利用しやすくなるのではないか。

委員 司書教諭と司書・ボランティアがいれば相談しながらできることが増えるので、ぜひ学校に司書を増やしてほしい。

委員 図書館として、主体的に学校図書室の運営に関わっていく意思があるのか。

事務局 子ども読書推進計画は、学校と図書館が連携していくために作った。これから実施する指導者研修で、学校の状況を聞くことを検討中である。

委員 今、学校に必要なのは、子どもと本をつないでいける人である。

委員 ボランティアを募集すれば人数は集まるが、指示をする人が必要である。マニュアルがあれば動きやすいのではないか。

#### 協議事項

事務局 資料に基づき説明

#### ①平成19年度図書館運営方針（案）について

まだ、平成19年度の鎌ヶ谷の教育ができていないが、本市の生涯学習推進計画が平成22年度まであり、その生涯学習推進体系に基づき図書館運

営方針（案）を策定した。今回の方針の中でプライバシーの保護をうたった。

主要事業は鎌ヶ谷市総合基本計画の中で①図書館蔵書・資料整備事業②図書館情報ネットワーク事業が位置づけられている。これについては、現在予算折衝中であるが、インターネットサービスの導入を計画している。

主要施策については、(1) 資料の整備充実と図書館サービスの拡充のなかで、インターネットサービスの導入と休館日の縮減を新規事業としてあげた。休館日については、現在 286 日開館しているがこれを 1 日でも 2 日でも縮められないか検討中である。また、将来の図書館のあり方について考えていかなければならないと思う。(2) 図書館事業の推進と業務体制の充実では、学校への支援協力として鎌ヶ谷西高校との連携を 1 月から試行的に実施を予定。現在本館で行われている創作活動等の事業を分館でも実施していく。又、来年は、現在の図書館が建設されて 20 年になるため、20 周年記念事業を行う予定である。(3) 普及啓発活動の充実に関しては、図書館ホームページの有効活用を考えている。本日提示した運営方針は図書館の運営幹であり、予算等も踏まえ次回にはこの運営方針にのっとり具現化した事業計画等を議案として提案したい。

#### 参考資料説明

#### 協議事項についての意見・質問

委員 インターネットサービスの導入は確定なのか。分館では図書の検索ができないが、職員に聞くのは、悪いような気がする。又、幼稚園・保育園・児童センター等との連携について、私立幼稚園に対しても行うのか。

事務局 インターネットサービスについては、実施計画では 17 年度の予定であったが、経費等の問題から 19 年度に繰り延べになった。市民サービスの向上のためにもぜひとも取り込みたい。また、資料検索も現行の資料検索機よりも具体的にわかりやすい方法を考えている。いずれにしても、家や職場からでも図書館資料の検索が容易にできることであり、市民要望の高い事項である。私立幼稚園に対してもリサイクルフェア等の呼びかけや団体貸出登録等を行っている。

委員 学校との連携について、図書リストの作成など図書館からの情報の発信が重要だと思う。また、子ども読書推進計画の中で学童保育が抜けていたが、その後担当課のほうから、子どもたちに本を読むように指導してもらった結果、図書館に団体登録をし、読み聞かせの

実践も始まった。いずれにしても、待ちの体制から外へ向けていく  
必要がある。

5 閉 会 三門副委員長

会議録署名人署名

以上、会議の経過を記載し相違のないことを証明するため次に署名する。

平成19年 1月26日

氏 名 倉 田 智 子 \_\_\_\_\_

氏 名 三 門 博 子 \_\_\_\_\_